

第 22 回 昆虫学格致セミナー

日時：2016 年 5 月 20 日（金） 13 時 30 分 ~ 15 時 30 分

場所：京都大学農学部総合館 1 階 E-103 号室

タイトル：タンガニイカ湖シクリッドにおける複雑な社会の進化

講演者： 田中 宏和（大阪市立大学大学院 理学研究科）

協同繁殖する動物では、ヘルパー個体が自らの繁殖機会を先送りし、他の繁殖個体の子育てを手伝う。子育ての上では一見協力関係にあるこれらの個体の背後には、餌資源や繁殖機会、社会的順位を巡るグループメンバー同士の対立や駆け引き、さらには血縁度による働きの調節や互惠主義まで見られ、その社会は動物で最も複雑な社会システムと言える。魚類における協同繁殖の例は、アフリカ・タンガニイカ湖固有の単系統のランプロロギニ族のカワスズメ科魚類(シクリッド) 80 種から約 20 種が報告されている。しかし一部の種を除き、その進化的要因はほとんど検討されていない。演者らは 4 年間の野外調査から、*Neolamprologus obscurus* が協同繁殖を行なっていることを発見し、本種における協同繁殖の進化的要因を検討してきた。本セミナーでは、本種の世界構造、ヘルパーの働き、分散を制限する要因を紹介し、最後にこれまで協同繁殖様式が報告されてきたランプロロギニ族シクリッドにおける、複雑な社会への進化要因について議論したい。